

第4回お出かけ今昔館 ～ 空堀の路地と長屋を巡る旅

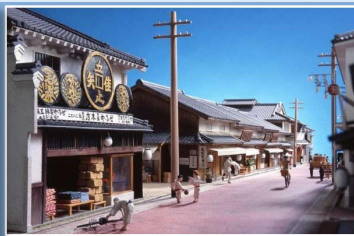
ろーじ

空堀という地名は、水の溜まっていない「空の堀」に由来し、豊臣大坂城の南総構堀があったところと言われています。江戸時代には瓦づくりの土の採取地として利用され、江戸中期から市街化が進み、明治には商店街として発展しました。大阪市中心部の多くが戦災で焼失した中、空堀一帯は奇跡的に被害を免れ、長屋や路地といった戦前からのたたずまいを残しています。

2000年代初めからは長屋再生も盛んになり、その動きは現在も続いています。新しい取り組みも生まれており、長屋再生の先進地域とも言える存在になっています。

今昔館には昭和13年の地蔵盆の日を再現した「空堀通・商店街・路地・長屋-」が展示されています。現地での実測調査や聞き取り調査、資料調査(古写真、航空写真、文献)によって、町並みだけでなく、人々の暮らしや生業が詳細に再現されています。

「空堀の路地(ろーじ)と長屋を巡る旅」では、この模型を手がかりに明治・大正・昭和へと続く空堀の住まいと暮らしの歴史を読み解いた後、現在の空堀界隈を歩き、今に残る生活文化の痕跡を体感します。



プログラム

日時 2026年3月8日(日) 13:30～1(受付開始 13:00)

会場 大阪ガス実験集合住宅 NEXT21(2階)

- | | |
|-------|------------------------------|
| 13:00 | 受付 |
| 13:30 | 開会 |
| 13:35 | 解説 「空堀地区の路地と長屋文化について」 増井館長 |
| 14:15 | 鑑賞 関連資料の鑑賞 |
| 14:30 | 探索 空堀界隈を歩いて探索 ※写真撮影はご遠慮ください。 |
| 15:45 | 交流 小グループに分かれて語り合い、感想・気付きを共有 |
| 16:30 | 閉会 ※時間は目安です。 |



アンケートにご協力をお願いします。
<https://forms.gle/rdc6BtusXZJmeWYRA>

(案内人) 増井正哉



大阪くらしの今昔館館長
京都大学・奈良女子大学
名誉教授。都市史、歴史遺産の保存・活用が専門

(コメンテーター) 谷 直樹



大阪市立大学名誉教授
大阪くらしの今昔館前館長
日本建築史、生活文化史、
博物館学が専門

(協力)

空堀まちなみ井戸端会



共催：大阪くらしの今昔館、大阪ガスネットワーク(株) エネルギー・文化研究所(CEL)

協力：大阪ガス実験集合住宅 NEXT21

包括連携協定に基づく
共催事業になります。

緊急時連絡先：大阪ガスネットワーク(株) エネルギー・文化研究所 小西 080-1482-5295